## 第3回 環境放射能除染研究発表会

## ポスター発表プログラム

発表日程 奇数番号:7月3日(木)13:15-14:15, 偶数番号:7月4日(金)13:00-14:00 (Pの後の3ケタ数字)

| ポスターセッション1  | リスクコミュニケーション・                                | リスクマネジメント | ・環境 五生・食の安全 |
|-------------|--|-----------|-------------|
| ハハス ピノノコン ! | <i>,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,</i> |           |             |

| ポスター  | -セッション1 リスクコミュニケーシ                           | ョン・リスクマネジメント・環境再生・食の安全  |
|-------|--|---|
| P-001 | 指定廃棄物最終処分場の候補地選定の進め<br>方に関する一考察              | 秋山貴(国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター), 大迫政浩<br>(同)  |
| P-002 | 体表面放射能汚染検査管理システムの開発<br>と運用                   | 〇中尾徳晶(清水建設(株)),川口正人(同),須々田嘉彦(同),嶋田智郎<br>(同)   |
| P-003 | 被災地周辺の焼却施設労働者における被曝<br>リスク評価                 | 〇小山陽介(京都大学工学研究科),松井康人(同),田中知史(同),島田洋子(同),高岡昌輝(同),米田稔(同)                                 |
| P-004 | 年齢依存性被曝管理目標値の提案                              | 〇近藤均(京都大学),島田洋子(同),米田稔(同)   |
| P-005 | 森林土壌中の放射性物質の浸透モデルに関<br>する検討                  | 〇島田洋子(京都大学), 長江卓也((株) デンロコーポレーション), 颯田尚哉(岩手大学), 渡邊篤(同), Seong joo KANG(京都大学), 米田稔(同)    |
| P-006 | 宮城県南丸森町における森林・水系・農<br>地・居住地の除染のための基礎的調査      | 原田茂樹(宮城大学食産業学部環境システム学科), 北辻政文(同)  |
| P-007 | 室内ダスト中の放射性セシウムの起源と除<br>染に関する基礎的検討            | 〇田中敦(国立環境研究所), 土井妙子(同), 神田裕子(同), 高木麻衣<br>(同), 菅野宗夫(NPOふくしま再生の会), 土器屋由紀子(同), 田尾陽一<br>(同) |
| P-008 | 放射線遮蔽シートによる福島県内民家の室内<br>ガンマ線低減効果             | 〇小西利樹(レンゴー(株)),田中智洋(同),田嶋宏邦(同),一瀬直次(日本マタイ<br>(株))                                       |
| P-009 | 福島県における循環型酪農の復興への一例                          | 〇奥本秀一((株)EM研究機構),新谷正樹(同·東京女子医科大学循環器<br>小児科),西渕泰((株)EM研究機構),比嘉照夫(名桜大学国際EM技術セン<br>ター)     |
| P-010 | 野菜における放射性Kの過剰集積とNa吸収から推定した放射性Cs対策のためのK施肥の適正化 | 〇長谷川榮一(東北大学大学院工学研究科),相川良雄(同),西村修(同)   |
| P-011 | 野生キノコ(チャナメツムタケ)の塩茹でによる放                      | 〇西野英二(IRIS放射能検査サービス),西野正(同),脇本忠明(愛媛大学名  |

誉教授)

## ポスターセッション2 計測技術

射性セシウム除去効果

| P-012 | 空間線量率計測における調査地点ナビゲー<br>ションと成果出力システムの開発 | 〇岡本修 (茨城工業高等専門学校), 和賀祥吾 (同), 三浦光通 ((株) 環境<br>研究センター), 高橋徹 (同)   |
|-------|--|---|
| P-013 | GM式水中サーベイメータを用いた飛灰洗浄<br>モニタリング         | 久保田洋((株)フジタ), 山田裕己(同), 野口俊太郎(同), 田邊滋基(エヌ<br>エス環境(株)), 小野寺明(同)   |
| P-014 | 除染作業に伴う放射線測定の新しい試み                     | ○竹内弥(環境リサーチ(株)), 山口陽二(同)  |
| P-015 | ベータ線放出核種の迅速測定                          | 〇服部達也(いであ(株)環境創造研究所),長坂洋光(同),渡辺恵史<br>(同),苣木洋一(同),溝畑朗(大阪府立大学放射線研究センター)   |
| P-016 | 焼却灰試料中の放射性ストロンチウムの簡<br>易測定法の検討         | 〇山本貴士(国立環境研究所), 塙章((株)同位体研究所), 竹内幸生(国立環境研究所), 大迫政浩(同), 貴田晶子(愛媛大学)   |
| P-017 | CsI(TI)シンチレーションスペクトロメータの性能<br>評価       | 滝上英孝(国立環境研究所),〇長谷川亮(同),竹内幸生(同),大迫政浩(同)  |
| P-018 | 環境濁水中の放射性セシウムの形態別分離<br>分析              | 〇南公隆(産業技術総合研究所), 保高徹生(同), 田中寿(同), 川本徹(同), 本田和行((株)オクトサイエンス), 植村和人(同), 土屋勇太郎(東京パワーテクノロジー(株)), 宮井勝平(同), 船橋孝之(同), 佐藤秀一(同), 上村竜一(同) |
| P-019 |  | <ul><li>○保高徹生(産業技術総合研究所), 辻英樹(同), 川本徹(同), 髙橋顕(同), 伊藤康博(日本バイリーン(株)), 今藤好彦(同), 川嶋将之(同)</li></ul>                                  |

| D 000 |   |   |
|-------|---|---|
| P-020 | によるセシウムイオンの除去技術                                 | 〇槇田洋二((独)産業技術総合研究所健康工学研究部門),Ramesh<br>Chitrakar(同),苑田晃成(同)  |
| P-021 | プルシアンブルー類似体を用いた粒状セシ<br>ウム吸着剤の開発                 | 〇岩田崇志(関東化学(株)), 木戸玄徳(同), 高崎幹大(同), 吉野和典(同), 高橋顕(産業技術総合研究所), 田中寿(同), 川本徹(同)   |
| P-022 | 粘土鉱物を用いたセシウムイオンの吸着と<br>脱離                       | 〇山岸晧彦(東邦大学理学部), 佐藤久子(愛媛大学大学院理工学研究科), 金子芳郎(鹿児島大学大学院理工学研究科), 田村堅志((独)物質・材料研究機構)4, 北澤孝史(東邦大学理学部), 森田昌敏(NPO環境測定品質管理センター)                |
| P-023 | ため池・湖沼等の放射性物質汚染底質の除<br>染システムの開発                 | 松岡正博(東洋建設(株)), 宮原和仁(同)  |
| P-024 | バーミキュライトを模擬土壌とした最適な<br>セシウム除染条件の検討              | 〇吉田昂平(愛媛大学大学院理工学研究科), 板垣吉晃(同), 青野宏通(同)  |
| P-025 | ペーパースラッジからなる多孔質粒状炭化<br>焼成物による放射性物質汚染土壌の除染調<br>査 | <ul><li>○アイ バン トラン(三栄レギュレーター(株),田宮寛明(道栄紙業(株))</li></ul>   |
| P-026 | 磁選回収を目的としたモルデナイト-マグ<br>ネタイト複合材料の開発とセシウム吸着能<br>カ | 〇山田啓三(愛媛大学), Erni Johan(同), 松枝直人(同), 板垣吉晃(同)<br>青野宏通(同)   |
| P-027 | 有機と無機のハイブリッド型洗浄剤による<br>付着汚れ洗浄システム               | 〇井町臣男(ミヨシ油脂(株)),仁上修一(同)   |
| P-028 | PVA割繊維不織布セシウム捕捉ネット                              | 〇石井真吏(ダイオ化成(株)), 印藤嶠(同), 安岡実(同), 中田浩義(同)  |
| P-029 | セシウム除去処理を行った土壌を用いた植<br>物栽培                      | 〇佐藤理夫(福島大学共生システム理工学類), 小平史圭(同, 現・セブンーイレブン ジャパン), 菅野大樹(同), 穴澤由香(同), 島長義(福島大学うつくしまふくしま未来支援センター)                                       |
| P-030 | フルボ酸を用いた土壌の放射能濃度低減に<br>関する研究                    | 〇大谷浩樹(首都大学東京健康福祉学部放射線学科), 奥山幹大(同), 添田飛真(同), 堀川大輔(同), 高木優奈(同)  |
| P-031 | 小型の濁水処理装置を活用した水田除染方<br>法の改良                     | 〇吉田将冬(茨城大学大学院理工学研究科),瀬谷藤夫((株)常磐ボーリング),高村正和((株)興洋),熊沢紀之(茨城大学大学院理工学研究科)   |
| P-032 | 浄水発生土中に含まれる粘土鉱物からのセ<br>シウム脱着に関する基礎研究            | ○齋藤太一朗(東北大学大学院工学研究科), 村上将也(同), 西村修(同), 近藤泰正((株) 水機テクノス)   |
| P-033 | マイクロバブル浮選による底質浚渫スラ<br>リーの除染に関する基礎的研究            | 日下英史(京都大学大学院エネルギー科学研究科), 〇橋本志帆(同), 石山宏二(西松建設(株)技術研究所)   |
| P-034 | 浮遊選鉱技術を応用した高濃度圧縮型多核種<br>放射性物質の分離回収技術            | 〇大木久光(NPO除染技術研究開発)  |
| P-035 | 鉄系セシウム除去材を用いたセシウムの吸<br>着と脱離に関する考察               | 〇平井恭正(石原産業(株)), 宮原英隆(同), 本田克久(愛媛大学)   |
| P-036 | 除染計画の最適化に関する確率論的検討                              | 〇米田稔(京都大学),島田洋子(同),松井康人(同),高木稜(同)   |
| P-037 | 乾湿サイクルによる放射能汚染土壌溶出特<br>性の変化                     | 〇米谷達成(京都大学工学研究科都市環境工学専攻), 米田稔(同), 島田洋子(同), 松井康人(同), 福谷哲(京都大学原子炉実験所), 池上麻衣子(同)   |
| P-038 | 日本大学工学部における除染の経過と放射性<br>物質の吸着特性                 | 〇平山和雄(日本大学工学部),郡川正裕(同)  |
| P-039 | イオンクロマトグラフィーを用いたセシウ<br>ム吸着剤の比較                  | 〇上原正尚, 釜谷美則(工学院大・工)   |
| P-040 | レーザー除染で用いる加エヘッドの開発                              | 峰原英介((公財)若狭湾エネルギー研究センター研究開発部), 〇池田<br>剛司(光産業創成大学院大学・(株)レーザックス)  |
| P-041 | 不織布担持プルシアンブル一吸着剤のセシ<br>ウム除去特性評価                 | 〇小川浩(産業技術総合研究所), 北島明子(同), 船橋孝之(東京パワーテクノロジー(株)), 桜井孝二(産業技術総合研究所), 田中寿(同), 小木剛(日本バイリーン(株)), 川崎達也(同), 川津善章(同), 伯田幸也(産業技術総合研究所), 川本徹(同) |
| P-042 |   | 〇二見賢一(水ing(株)),坂下大地(同),下村達夫(荏原工業洗浄(株))<br>関根智一(同),三甘崇博(同),関原和哉(同),佐久間博司(水ing(株))  |
| P-043 | 原発港湾内海水のSrを除去するためのチタン化合物担持繊維の開発                 | (同),梅野太輔(同),斎藤恭一(同),藤原邦夫((株)環境浄化研究所),多  |
| P-044 | セシウム除去用吸着繊維上での不溶性フェ<br>ロシアン化コバルト担持構造の解明         | 郷高信(同)<br>後藤聖太(千葉大学大学院工学研究科),〇増山嘉史(同),小島隆(同),<br>河合(野間)繁子(同),梅野太輔(同),斎藤恭一((株)環境浄化研究所),<br>藤原邦夫(同),須郷高信(同)                           |

## ポスターセッション4 減容技術

| による汚染土壌成分からのセシウム除去 太(同),高橋秀治(同),竹下健二(同)  P-050 溶媒抽出法を用いた汚染土壌からのセシウム除染技術の開発   | -     |                      |   |
|--|-------|----------------------|---|
| 図化洗浄技術(その2) (同) P-047 トドロカイト型マンガン酸化物のセシウム ○  | P-045 |                      | 〇野口俊太郎((株)フジタ),久保田洋(同),山田 裕己(同)   |
| P-048   溶融システムへの二段パグフィルタの導入   公釜田陽介((株)クボタ水・環境総合研究所),吉岡洋仁(同),佐藤淳(尼よるセンウム濃縮率向上の検証   (同),上林史朗(同),阿部清一(同,現・杵築技術士事務所)   でよるモンウム濃縮率向上の検証   (同),上林史朗(同),阿部清一(同,現・杵築技術工事務所)   でよる汚染土壌成分からのセシウム除去   (同),上林史朗(同),阿市健二(同)   不成染技術の開発   (元),高橋秀治(同),竹下健二(同)   不成染技術の開発   (元)   公宮下直(広島大学大学院理学研究科),中島党(広島大学自然科学研究及援助過程の放射性セシウムの挙動を再現す   (五)   公正港(阿)   公 | P-046 |                      |   |
| によるセシウム濃縮率向上の検証  | P-047 | イオン選択性               | (同),Ramesh Chitrakar(同)   |
| 下  | P-048 |                      | 〇釜田陽介((株)クボタ水・環境総合研究所), 吉岡洋仁(同), 佐藤淳<br>(同), 上林史朗(同), 阿部清一(同, 現・杵築技術士事務所) |
| P-051 焼却過程の放射性セシウムの挙動を再現す るためのマルチゾーン平衡計算の適用と評価  P-052 セシウムを吸着したフェロシアン化鉄の熱 (高橋秀治(東京工業大学原子炉工学研究所), 緒明博(同), 稲葉優介 (同), 竹下健二(同), 小原孝之(前田建設工業(株))  P-053 除去土壌からのセシウム揮発除去と減容化 (同), 作下健二(同), 小原孝之(前田建設工業(株))  P-054 ブルシアンブルーナノ粒子を用いたさまざ (同), 井出昇明(同), 倉持秀敏(国立環境研究所), 野村和孝(同), 大迫政治(同) 井出昇明(同), 倉持秀敏(国立環境研究所), 野村和孝(同), 大迫政治(同) ナノ金属粉体による放射性汚染土壌の減容 (内), 高崎幹太(同), 高崎幹太(同), 高林昌生(同), 田中寿(産業まなセシウム吸着技術 (石), 日本後(同) (日本教育の保証・減容化に関する研究 (日本教育の保証・対した方式のような研究) (日本教育の保証・対した方式のような研究) (日本教育の保証・対した方式のような研究) (日本教育の保証・対した場別の保証・対した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表した方式のような研究を表して、(大) クレットレーディング (国) (大) が、大) が、大) が、大) が、大) が、大) が、大) が、大) が、  | P-049 |                      |   |
| P-052 セシウムを吸着したフェロシアン化鉄の熱 ○高橋秀治(東京工業大学原子炉工学研究所), 緒明博(同), 稲葉優介 分解特性に関する基礎研究 (同), 竹下健二(同), 小原孝之(前田建設工業(株)) P-053 除去土壌からのセシウム揮発除去と滅容化 ○竹田尚弘((株)神鋼環境ソリューション), 藤原大(同), 小倉正裕 (同), 井出昇明(同), 倉持秀敏(国立環境研究所), 野村和孝(同), 大迫政 浩(同) P-054 ブルシアンブルーナノ粒子を用いたさまざ ○吉野和典(関東化学(株)), 高崎幹太(同), 高林昌生(同), 田中寿(産業 まなセシウム吸着技術 ○三 古好治(県立広島大学生命環境学部), 奥田哲士(広島大学環境安全 センター) P-055 ナノ金属粉体による放射性汚染土壌の滅容 ○三 古好治(県立広島大学生命環境学部), 奥田哲士(広島大学環境安全 センター) P-056 マイクロバブル圧壊処理工程を施したケイ ○上田義勝(京都大学生存圏研究所), 徳田陽明(同化学研究所), 後藤裕 酸ナトリウム洗浄剤の除染処理・減容化に (株) クレハトレーディング) 関する研究 P-057 放射性セシウム汚染土壌の減容化 ○谷本祐一(清水建設(株)技術研究所), 木下哲一(同) P-058 ミリ波加熱を用いた溶融塩法による土壌の ○ ○ 受赤根((株) 淡海環境デザイン), 光藤誠太郎(福井大学遠赤外領域開 完好表実験 発研究センター), 谷正彦(同) P-059 ポンプ循環方式による土壌洗浄技術について ○ ○ 英未根((株) 淡海環境デザイン), 光藤誠太郎(福井大学遠赤外領域開 元 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・  | P-050 |                      | 〇宮下直(広島大学大学院理学研究科), 中島覚(広島大学自然科学研究<br>支援開発センター)                           |
| P-053 除去土壌からのセシウム揮発除去と減容化 〇竹田尚弘((株) 神鋼環境ソリューション),藤原大(同),小倉正裕(同),井出昇明(同),倉持秀敏(国立環境研究所),野村和孝(同),大迫政治(同) P-054 ブルシアンブルーナノ粒子を用いたさまざ 〇吉野和典(関東化学(株)),高崎幹太(同),高林昌生(同),田中寿(産業 まなセシウム吸着技術 〇三苫好治(県立広島大学生命環境学部),奥田哲士(広島大学環境安全 化技術 センター) P-055 ナノ金属粉体による放射性汚染土壌の減容 〇三苫好治(県立広島大学生命環境学部),奥田哲士(広島大学環境安全 センター) P-056 マイクロパブル圧壊処理工程を施したケイ 〇上田義勝(京都大学生存圏研究所),徳田陽明(同化学研究所),後藤裕 酸ナトリウム洗浄剤の除染処理・減容化に ((株)クレハトレーディング)関する研究 〇谷本祐一(清水建設(株)技術研究所),木下哲一(同) P-058 ミリ波加熱を用いた溶融塩法による土壌の 〇美永根((株)淡海環境デザイン),光藤誠太郎(福井大学遠赤外領域開発研究センター),谷正彦(同) ア-059 ポンプ循環方式による土壌洗浄技術について 〇武石学(安藤ハザマ)、木川田一弥(同)、佐藤博(東京電力)、河原忠弘(同)、川崎一弘(同)、田中良彦(同) ア-060 放射能汚染土壌中の砂・礫の放射能濃度削減 前田幸男(佐藤工業(株))、〇楠岡弘康(同)、木俣陽一(若築建設(株))、森晴夫 技術 〇木俣陽一(若築建設(株))、森晴夫 (同)、京藤敏達(筑波大学)  | P-051 | るためのマルチゾーン平衡計算の適用と評  | 〇由井和子((独)国立環境研究所), 倉持秀敏(同), 大迫正浩(同)                                       |
| (同), 井出昇明(同), 倉持秀敏(国立環境研究所), 野村和孝(同), 大迫政治(同)  | P-052 |                      |   |
| 表なセシウム吸着技術 技術総合研究所),川本徹(同)   P-055   | P-053 | 除去土壌からのセシウム揮発除去と減容化  | (同), 井出昇明(同), 倉持秀敏(国立環境研究所), 野村和孝(同), 大迫政                                 |
| <ul> <li>化技術 センター)</li> <li>P-056 マイクロバブル圧壊処理工程を施したケイ の上田義勝 (京都大学生存圏研究所), 徳田陽明 (同化学研究所), 後藤裕酸ナトリウム洗浄剤の除染処理・減容化に ((株) クレハトレーディング) 関する研究</li> <li>P-057 放射性セシウム汚染土壌の減容化 ○谷本祐一 (清水建設 (株) 技術研究所), 木下哲一 (同)</li> <li>P-058 ミリ波加熱を用いた溶融塩法による土壌の ○姜永根 ((株) 淡海環境デザイン), 光藤誠太郎 (福井大学遠赤外領域開発研究センター), 谷正彦 (同)</li> <li>P-059 ポンプ循環方式による土壌洗浄技術について ○武石学(安藤ハザマ), 木川田一弥(同), 佐藤博(東京電力), 河原忠弘 (同), 川崎一弘(同), 田中良彦(同)</li> <li>P-060 放射能汚染土壌中の砂・礫の放射能濃度削減 前田幸男(佐藤工業(株)), ○梅岡弘康(同), 木俣陽一(若築建設(株)), 森晴夫技術</li> <li>P-061 高性能洗浄装置を用いた放射能汚染土壌の ○木俣陽ー(若築建設(株)), 森晴夫(同), 前田幸男(佐藤工業(株)), 楠岡弘康</li> </ul>   | P-054 |                      |   |
| 酸ナトリウム洗浄剤の除染処理・減容化に ((株) クレハトレーディング)<br>関する研究ア-057放射性セシウム汚染土壌の減容化〇谷本祐一(清水建設(株)技術研究所), 木下哲一(同)P-058ミリ波加熱を用いた溶融塩法による土壌の Cs除去実験〇姜永根((株) 淡海環境デザイン), 光藤誠太郎(福井大学遠赤外領域開発研究センター), 谷正彦(同)P-059ポンプ循環方式による土壌洗浄技術について 〇武石学(安藤ハザマ), 木川田一弥(同), 佐藤博(東京電力), 河原忠弘(同), 川崎一弘(同), 田中良彦(同)P-060放射能汚染土壌中の砂・礫の放射能濃度削減 前田幸男(佐藤工業(株)), Q楠岡弘康(同), 木俣陽一(若築建設(株)), 森晴夫技術P-061高性能洗浄装置を用いた放射能汚染土壌の 〇木俣陽一(若築建設(株)), 森晴夫(同), 前田幸男(佐藤工業(株)), 楠岡弘康   | P-055 |                      |   |
| P-058 ミリ波加熱を用いた溶融塩法による土壌の O姜永根((株)淡海環境デザイン),光藤誠太郎(福井大学遠赤外領域開発研究センター),谷正彦(同) P-059 ポンプ循環方式による土壌洗浄技術について O武石学(安藤ハザマ),木川田一弥(同),佐藤博(東京電力),河原忠弘(同),川崎一弘(同),田中良彦(同) P-060 放射能汚染土壌中の砂・礫の放射能濃度削減 前田幸男(佐藤工業(株)),〇楠岡弘康(同),木俣陽一(若築建設(株)),森晴夫技術 (同),京藤敏達(筑波大学) P-061 高性能洗浄装置を用いた放射能汚染土壌の O木俣陽一(若築建設(株)),森晴夫(同),前田幸男(佐藤工業(株)),楠岡弘康  | P-056 | 酸ナトリウム洗浄剤の除染処理・減容化に  |   |
| Cs除去実験発研究センター), 谷正彦(同)P-059ポンプ循環方式による土壌洗浄技術について 〇武石学(安藤ハザマ), 木川田一弥(同), 佐藤博(東京電力), 河原忠弘 (同), 川崎一弘(同), 田中良彦(同)P-060放射能汚染土壌中の砂・礫の放射能濃度削減 前田幸男(佐藤工業(株)),〇楠岡弘康(同),木俣陽一(若築建設(株)),森晴夫 (同),京藤敏達(筑波大学)P-061高性能洗浄装置を用いた放射能汚染土壌の 〇木俣陽一(若築建設(株)),森晴夫(同),前田幸男(佐藤工業(株)),楠岡弘康   | P-057 | 放射性セシウム汚染土壌の減容化      | 〇谷本祐一(清水建設(株)技術研究所),木下哲一(同)   |
| (同), 川崎一弘(同), 田中良彦(同)  P-060 放射能汚染土壌中の砂・礫の放射能濃度削減 前田幸男(佐藤工業(株)),〇楠岡弘康(同),木俣陽一(若築建設(株)),森晴夫技術 (同),京藤敏達(筑波大学)  P-061 高性能洗浄装置を用いた放射能汚染土壌の 〇木俣陽一(若築建設(株)),森晴夫(同),前田幸男(佐藤工業(株)),楠岡弘康  | P-058 |                      |   |
| 技術 (同),京藤敏達(筑波大学) P-061 高性能洗浄装置を用いた放射能汚染土壌の 〇木俣陽一(若築建設(株)),森晴夫(同),前田幸男(佐藤工業(株)),楠岡弘康   | P-059 | ポンプ循環方式による土壌洗浄技術について |   |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・  | P-060 |                      |   |
|  | P-061 |                      |   |

| P-062 中間貯蔵施設に関連する運搬システム  | ホスタ   | ーセッション5 廃棄物対策・保管                      | 貯蔵   |
|--|-------|---------------------------------------|--|
| (同)、島長義 (福島大学)つくしまふくしま未来支援センター)   P-064   放射能汚染飛灰セメント圏型物の長期溶出   ○石森洋行(立命館大学)、遠藤和人(独) 国立環境研究所)、小保方覧   特性   (同)、山田一大(同)、山田正人(同)、大迫改浩同)   (別・山田一大(同)、大迫改治   (別・山田一大(同)、大迫改治   (別・山田一大(同)、大迫改治   (別・山田一大(同)、大迫改治   (別・山田一大(同)、大迫改治   (別・山田一大(同)、大道改治   (別・山田一大(同)、大道改治   (別・山田一大(同)、大道改治   (別・山田一大(同)、大道改治   (別・山田一大(同)、大道改治   (別・山田一大(同)、大道改治   (別・山田一大(同)、財政・大学院   (別・山田・大(田)、大道改治   (別・山田・大(田)、大道文治   (別・山田・大(田)、大道文治治   (別・山田・大(田)、大道文治   (別・山田・大(田)、大道文治   (別・山田・大(田)、大田・大(田)、大道文治   (別・田・大(田)、大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大田・大 | P-062 | 中間貯蔵施設に関連する運搬システム                     | ○峯尾昇(シグマテック(株)), 塚本浩規((株)エジソン)   |
| 特性   | P-063 | バイオマス焼却灰の飛散防止処理の検討                    |  |
| P-066 ジオボリマー養生温度及び時間が焼却飛灰 (○高岡昌輝 (京都大学大学院地球環境学堂)、中村尊郁(京都大学大学院 中セシウムの不溶化形態に与える影響  | P-064 |                                       |  |
| 中セシウムの不溶化形態に与える影響 工学研究科)、塩田憲司(同)、藤森崇(京都大学大学院地球環境学堂)、大下和微(同)  | P-065 |                                       |  |
| ● 西村和基 (同) 全田陽介 (同),阿部清一 (杵築技術士事務所),大迫政浩 ((独) 国立環境研究所)  P-068 多機能盛土による放射性物質含有ごみ焼却  | P-066 |                                       | 工学研究科), 塩田憲司(同), 藤森崇(京都大学大学院地球環境学堂), 大                                   |
| 飛灰の処理・保管に関する実証実験(その 1)   | P-067 | _                                     | 西村和基(同),釜田陽介(同),阿部清一(杵築技術士事務所),大迫政浩                                      |
| RCOの理・保管に関する実証実験(その 2) (日鉄住金環境(株))、上野崇(草野産業(株))、加藤隆也(NPO法人環境技術支援ネットワーク) 放射性セシウムの水熱合成ポルサイトによる   | P-068 | 飛灰の処理・保管に関する実証実験(その                   | 化成ジオテック(株)), 上野崇(草野産業(株)), 加藤隆也(NP0法人環境                                  |
| 日本株野   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日本   日  | P-069 | 飛灰の処理・保管に関する実証実験(その                   | (日鉄住金環境(株)), 上野崇(草野産業(株)), 加藤隆也(NPO法人環境技                                 |
| 「同)、川崎一弘(同)、田中良彦(同)  | P-070 |                                       |  |
| P-072 トピケラウオッチ 水生昆虫を用いた河川環境 の放射性セシウムモニタリング (福岡県保健環境研究所)、稲波修(北海道大学大学院監を学研究科)、水川葉月(同)、藤野毅(埼玉大学大学院医学系研究科)、渡邉県(東京農工大学大学院農学研究科)、龍田希(東北大学大学院医学系研究科)、仲井邦彦(同)) 校花への1340sと1370sの移行係数の経年変 永嶋誠一(日本大学工学部) (七(その2)  | P-071 |                                       |  |
| の放射性セシウムモニタリング (福岡県保健環境研究所)、稲波修(北海道大学大学院獣医学研究科)、水川葉月(同)、藤野毅(埼玉大学大学院理工学研究科)、渡邉泉、東京農工大学大学院農学研究科)、龍田希(東北大学大学院医学系研究科)、仲井邦彦(同)  P-073 桜花への1340sと1370sの移行係数の経年変 永嶋誠一(日本大学工学部) 化(その2)  P-074 千葉県北西部における空間線量率の土地利  | ポスタ   | ーセッション6 陸域・海域の汚染                      | ,野生生物  |
| Ref  | P-072 |                                       | (福岡県保健環境研究所),稲波修(北海道大学大学院獣医学研究科),水川葉月(同),藤野毅(埼玉大学大学院理工学研究科),渡邉泉(東京農工大学大学 |
| 用形態別の特徴と時間変化 藤歩(同),長岡亨(同),吉原利一(同)  P-075 福島市における降下ばいじん等環境試料の   | P-073 |                                       | 永嶋誠一(日本大学工学部)  |
| 放射性セシウム等の分析調査(第一報) (同),田野崎隆雄(同),山本貴士(同),長谷川亮(同),大迫政浩(同)  P-076 桧原湖における放射線量の環境動態 〇古河幸雄(日本大学工学部),長林久夫(同),手塚公裕(同)  P-077 森林内における放射性セシウムの分布傾向 高橋敦宏(福島県農林水産部森林林業総室森林整備課),〇山村充(国土 防災技術(株)),氏家亨(同)  P-078 森林整備事業の実施による空間放射線量率 高橋敦宏(福島県農林水産部),〇氏家亨(国土防災技術(株)),山村充 の低減効果について (同)  P-079 水田を介した放射性セシウムの流入/流出量 の把握 〇久留景吾(アジア航測),吉村和也(日本原子力研究開発機構),恩田裕一(筑 波大学アイソトープ環境動態研究センター)   | P-074 |                                       |  |
| P-077 森林内における放射性セシウムの分布傾向 高橋敦宏(福島県農林水産部森林林業総室森林整備課), 〇山村充(国土 防災技術(株)), 氏家亨(同) P-078 森林整備事業の実施による空間放射線量率 高橋敦宏(福島県農林水産部), 〇氏家亨(国土防災技術(株)), 山村充 の低減効果について (同) P-079 水田を介した放射性セシウムの流入/流出量 の把握 〇久留景吾(アジア航測),吉村和也(日本原子力研究開発機構),恩田裕一(筑 波大学アイソトープ環境動態研究センター)   | P-075 |                                       |  |
| について   防災技術(株)),氏家亨(同)   P-078   森林整備事業の実施による空間放射線量率   | P-076 | 桧原湖における放射線量の環境動態                      | 〇古河幸雄(日本大学工学部),長林久夫(同),手塚公裕(同)   |
| の低減効果について (同) P-079 水田を介した放射性セシウムの流入/流出量 〇久留景吾(アジア航測),吉村和也(日本原子力研究開発機構),恩田裕一(筑の把握 波大学アイソトープ環境動態研究センター)   | P-077 |                                       | 防災技術(株)), 氏家亨(同)   |
| の把握 波大学アイソトープ環境動態研究センター)   | P-078 |                                       |  |
| P-080 フィクロコブルシステルによるCo.12のCold ○対ト和に(工義工業士学生会理接利学科) 杉油柱/扣増サフト学学科   | P-079 |                                       |  |
| Test 影響評価 学科),稲森悠平(国際科学振興財団バイオエコ技術開発研究所)   | P-080 | マイクロコズムシステムによるCs・12のCold<br>Test 影響評価 | 〇村上和仁(千葉工業大学生命環境科学科),杉浦桂(相模女子大学栄養科学科),稲森悠平(国際科学振興財団バイオエコ技術開発研究所)         |